



他病院への転院に関するご理解とご協力をお願い

当センターは、高度医療を行う大学病院であり、教育・研究・診療の向上を推進するとともに地域医療の中核として、他病院からの紹介で大学病院での入院治療が必要な患者を積極的に受け入れる多摩地区の24時間応需・第3次救命救急センターの使命も担う施設です。

この様な体制の中、救急医療及び急性期医療や専門的な医療を「ひとりでも多くの患者さんに安心して、ご利用いただける」ように心掛け、入院期間をできる限り短くする体制をとっています。

そのため**診断が確定し、大学病院での継続治療が必要でない状態の患者さんには、症状に応じた役割を担う他の医療機関への転院をしていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。**また、早期転院を目指すため転院先はご希望に応じられないことがあることをご了承下さい。退院や転院のご相談は総合相談・支援センターに所属する退院支援看護師、社会福祉士などが窓口になっておりますのでご利用下さい。

東京医科大学 八王子医療センターでは、国の政策に基づき「かかりつけ医」と「大学病院」が役割分担を明確にし、協力し合って、質の高い医療を提供できるよう努めています。

ふたりの主治医を持ちましょう

～かかりつけ医と東京医科大学 八王子医療センターの連携～

病状に応じて、専門的な診察・検査・手術が必要と判断した場合、診療情報提供書(紹介状)等で診療情報を共有します。

かかりつけ医 患者さん 東京医科大学 八王子医療センター 医師

紹介 報告 逆紹介

当院は急性期治療を担う高度先進医療機関です。

【外来では】
初診の患者さんで、紹介状がなければ、選定療養費をお支払い頂きます。

【入院では】
急性期の治療が終了しましたら、地域の医療機関へ転院をお願いします。

※医療連携(病診連携・在宅医療)は、厚生労働省が推進しています。